※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、古典に基づく線質、字形、構成などの要素を理解し表現する基礎的な力を深めます。
・名筆や現代の書の作品を参考に自身の思いや感情が作品を通じて表現できることをめざします。
・自身の作品について、他の人の意見を聞き、作品をよりよく変化することができるよう、他者の意見を尊重して、改善していく力を身につけます。
・古典作品の幅を広げ、鑑賞力を身につけ、感性を高めます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1 ）　書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に基づき，効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

（2 ）　書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

（3 ）　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき，効果的に表現するための技能を身につけ表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書	楷書、行書、草書及び篆書の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。	a:各古典の書体や書風を理解して、線質、字形などの用筆・運筆との関わりを理解している。(知) 古典に基づく効果的な表現技能を身につけている。（技） 書風の幅を広げ、古典のもつ美しさを深く味わい捉えている。(鑑) b: 表現形式に応じた全体の構成を構想し工夫している。 作品の価値とその根拠について書の良さを深く味わい捉えている。（鑑） c:漢字の書の伝統と文化に親しみ、感性を高め、主体的に書の創造的な活動に取り組もうとしている。 主体的に書の創造的な活動に取り組もうとしている。 （鑑）	作品	作品 プリント	振り返り プリント 作品

※令和４年度以降入学生用

		篆刻(姓名印の作成)	a:篆書の特徴を理解している。（知） 布字や印稿作成、運刀の技能を身に付けている。（技） 篆書の線質を理解し、篆刻の作品を深く味わい捉えている。（鑑） b：書を立体化する刻線の良さについて、意図に基づいて構想し工夫している。 押印について作品の構成を考え深く味わい捉えている。（鑑） c:篆刻の特徴をよく捉え、印稿の作成や運刀などに関心をもち、書の創造的な活動に取り組もうとしている。 主体的に篆刻の美しさを味わい、創作に取り組もうとしている。（鑑）	作品	作品 プリント	振り返り プリント 作品 観察
2	仮名の書	古筆作品の臨書を通じて、書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。	a:古典の特徴と用筆・運筆の関わりを理解している。（知） 時代、風土、筆者との関わり等を理解し、深く味わって捉えている。（鑑） 古典に基づき基本的な用筆・運筆の技能を身につけている（技） b:表現形式に応じた全体の構成を構想し工夫している。 生活や社会における書の美しさを深く味わい捉えている。（鑑） c:感興や意図に応じて作品を計画的に構想し、創造的に活動に取り組もうとしている。 書の美しさや価値について考えながら、書の創造的な活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	作品	作品 プリント	振り返り プリント 作品

※令和４年度以降入学生用

3	漢字仮名交じりの書	書を構成する様々な要素を理解したうえで、感興や意図に応じた個性的な表現をする。	a:漢字と仮名の調和を生かして、全体の構成の技能を身につけている。（技） 書を構成する要素の線質について、表現効果や風趣とのかかわりを理解している。（知） 線質・字形・構成などの要素と表現効果や風趣との関わりを深く味わって捉えている。（鑑） b:生活や社会における書の美しさの効用と芸術としての書の意義や価値について、深く味わい捉えている。（鑑） 自身の思いや感興にあった言葉を選定し、作品を創造的に構想し、表現を工夫している。 c:多様な文字や書と主体的に関り、書の活動に取り組もうとしている。 漢字仮名交じりの書について、書の特質の理解を深め、書の活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	作品 プリント	振り返り プリント 作品 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度